

(関係部署へご閲覧ください)

A L M の高度化へ向けた課題と方向性

(オンライン同時配信)

本コースは、金融機関において近年大きな課題となっている収益管理・リスク管理のうち、特に金利リスク、A L M について、可能な限り平易な言葉で解説することで、基礎から現状の課題、今後の方向性を学習します。

- ★ 金融機関で収益管理・リスク管理部門に配属されて間もない方
 - 業務で用いられている専門用語、考え方の体系的な理解は十分ですか？
- ★ 収益管理・リスク管理の概要を改めて理解し直したい管理者の方
 - 経営層や他部署の関係者の方々と、自社の A L M の現状について適切な情報共有が十分にできていますか？
 - A L M 業務の高度化に向けて、目指すべき方向性がイメージできていますか？
- ★ メーカー・ベンダーの銀行担当営業、S E の方
 - 担当されているお客様が実際に携わっている収益管理・リスク管理業務の内容や抱えている課題についての理解は十分ですか？

開催日：2026年6月11日(木)・12日(金) 1. 5日間

会場：第2ニッキンホール(東京・市ヶ谷)

講師：PwC Japan 有限責任監査法人

金融アドバイザー部

ディレクター 小松 宏忠 氏

主催：**日本金融通信社**

<https://bunkup.nikken.co.jp/>

後援：一般社団法人全国地方銀行協会
一般社団法人第二地方銀行協会
一般社団法人全国信用金庫協会
一般社団法人全国信用組合中央協会

☆研修のねらい

金融機関において近年大きな課題となっている収益管理、リスク管理を、可能な限り平易な言葉で解説するコースの一環として、本コースでは特に金利リスク、ALMについて取り上げます。ALMの基礎から現状の課題、今後の方向性までを学習します。必要な用語、実務知識を身につけ、今後の業務運営、企画・開発・運用業務、及び効果的なシステム導入の提案・営業活動に役立てていただくことをねらいとします。

☆本研修の位置付け

金融にかかわるすべての方を対象とした「銀行業務研修中級・収益管理・リスク管理コース」（「信用リスク管理の基礎」と「市場リスク・オペレーショナルリスク・ALM・統合リスク管理」の2コースあり）の中から、特に金利リスクのリスクカテゴリーに焦点を当て、より理解を深めていただくものです。収益管理・リスク管理部門で仕事をされる方にとって、概略を理解するための講座として設計しました。

☆研修の対象

金融機関に勤務しており、収益管理・リスク管理部門に配属されたばかりの方、資金証券部門、事務システム部門、ALM部門のご担当の方、統合リスク管理ご担当の方、収益管理・リスク管理システムの企画・開発・運用担当になった方、収益管理・リスク管理の概要を理解しておきたい経営者、管理者の方、および金融機関を営業対象とする企業の社員・SEの方、「銀行業務研修・基礎コース」「銀行業務研修中級コース 収益管理・リスク管理コース～市場リスク・オペレーショナルリスク・ALM・統合リスク編～」を修了された方々。

☆開催要綱

日時： 2026年6月11日（木）・12日（金） 1. 5日間

時間： 1日目 10:30～16:30 2日目 9:30～12:30

講師： 小松宏忠氏

（PwC Japan 有限責任監査法人 金融アドバイザリー部 ディレクター）

主にメガバンクや地域金融機関に対し、ALM、管理会計、内部統制、経営情報システム、マイナンバー対応、LIBOR移行対応、気候変動リスクアドバイザリーなど、幅広いテーマのコンサルティングサービスを提供。日本証券アナリスト協会検定会員。

会場： 第2ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

受講料： ・研究会会員価格 53,900円（本体価格49,000円、消費税4,900円）
・BUNKUP会員価格56,100円（本体価格51,000円、消費税5,100円）
・後援協会会員価格 57,200円（本体価格52,000円、消費税5,200円）
・一般価格 60,500円（本体価格55,000円、消費税5,500円）

（1日目の昼食はこちらで用意いたします）

定員： 30人（最少開催人員10人）

**A L Mの高度化へ向けた課題と方向性
カリキュラム**

＜ 1 日目 ＞ 10 : 30～16 : 30 (10:00 受付開始)	＜ 2 日目 ＞ 9 : 30～12 : 30 (9:00 受付開始)
<p>はじめに</p> <ul style="list-style-type: none">・リスク管理の変遷・邦銀におけるリスク管理の変遷・最近のA L M関連重要テーマ <p>1. A L Mの概要</p> <p>1.1 A L Mの目的</p> <p>1.2 A L Mの役割</p> <p>1.3 A L Mと 市場リスク・信用リスクとの関係</p> <p>2. A L Mの基礎知識</p> <p>～用語、簡単な統計的意味、 手法などの詳細の説明～</p> <p>2.1 金利変動によるリスク</p> <p>2.2 預金金利と貸出金利のスプレッド</p> <p>2.3 A L Mの発展</p> <p>マチュリティラダー</p> <p>グリッドポイントセンシティビティ</p> <p>V a R</p> <p>E a R</p> <p>流動性リスク</p> <p>3. A L Mの実務</p> <p>3.1 A L M実務アプローチ</p> <p>金利V a R (センシティビティ/ボラ ティリティ/相関係数)</p> <p>金利V a R以外の定量的把握</p> <p>シナリオシミュレーション、E a R</p> <p>住宅ローンのリスク・収益管理</p> <p>3.2 A L Mの体制</p> <p>A L M部門と営業部門の収益配分</p> <p>スプレッドバンキング</p> <p>管理手法の前提と限界</p> <p>3.3 A L Mシステム</p> <p>※1日目の昼食はこちらで用意いたします。</p>	<p>4. A L M委員会における報告内容</p> <p>4.1 マチュリティラダー/ グリッドポイントセンシティビティ ポートフォリオのポジションおよび リスクの把握</p> <p>4.2 シナリオシミュレーション</p> <p>金利シナリオ</p> <p>早期返済シナリオ</p> <p>デフォルトシナリオ</p> <p>4.3 アクションプラン</p> <p>金融マーケットにおける取引 対顧客戦略</p> <p>5. 当局・業界動向とA L M</p> <p>5.1 金融モニタリングとI R R B B</p> <p>5.2 金融当局の目線</p>

04

第190回 銀行業務研修・中級コース
第130回 収益管理・リスク管理コース

A L Mの高度化へ向けた課題と方向性

ホームページ用受講申込書

2026年6月11日(木)・12日(金) 1.5日間 開講

貴社名

所在地 (〒 -)

連絡責任者 TEL

部署・役職 FAX

Eメール オンライン受講 ()

	参加者氏名	所属(部・課・グループ)	役職

☆お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図を郵送いたします。

☆一週間経過しても届かない場合は、ご連絡ください。

受講料

A : 53,900円 (本体価格 49,000円) <研究会会員価格>

B : 56,100円 (本体価格 51,000円) <BUNKUP 会員価格>

C : 57,200円 (本体価格 52,000円) <後援協会会員価格>

D : 60,500円 (本体価格 55,000円) <一般価格>

<1日目の昼食はこちらで用意いたします>

お問い合わせは、日本金融通信社

TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570 まで。
e-mail k-info@nikkin.co.jp

注：(振込先銀行) みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042

(名義) 株式会社 日本金融通信社 振込予定日 (できるだけご記入ください) 月 日

受講についてお願い

- ①受講料は、セミナー開催日までにお振込みください。
- ②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。
- ③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求書番号の下3桁(枝番数字)を付記してください。
振込手数料は貴機関でご負担をお願い申し上げます。
- ④開催日6日以内の受講キャンセルの場合、受講料の払い戻しはいたしません。
- ⑤講演中の録音・撮影ならびにパソコン・携帯電話の利用はご遠慮ください。
- ⑥諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。
- ⑦オンライン受講の場合は、一人が1IDとなります。